

「つながる菜園プロジェクト」collaboration企画
土づくりプロジェクト キックオフ

校長室だより第64号で募集しました「土づくりプロジェクト」。本日キックオフです！
コンポスト始動の様子をレポートします！



区内の技術科の教員（渋谷区立中学校教育研究会）と有志生徒でコンポスター（堆肥枠）の制作開始！

サイズ：124×124×H80(cm)

容 量：1100L

重 量：40kg

材 質：ポリエチレン

市販品です。4万円ほどで購入できます。



流石・・・技術科「匠」の技！
50分ほどでキッチリ完成！
40kgあるコンポスターを
設置場所に移動



設置場所は事前に除草して
均していきます

この夏に咲いた向日葵を堆肥化していきます！
種子もしっかり採取・・・来年も咲かせましょう！



参加者全員で作業開始！
最初は、微生物菌の皆さんのが分解しやすいように向日葵を3cmほどにカット
参加者で自己紹介しながら
和やかにスタートしました

細かくカットされました！



微生物菌 大量の「ぼかし肥料」を 20kg 投入

ぼかし肥料とは油かす、魚かす、骨粉、鶏ふん、牛ふん等の複数の有機肥料を土と混ぜて発酵させた、農家の自家製有機肥料で微生物が詰まっています。（農場のにおいが・・・）

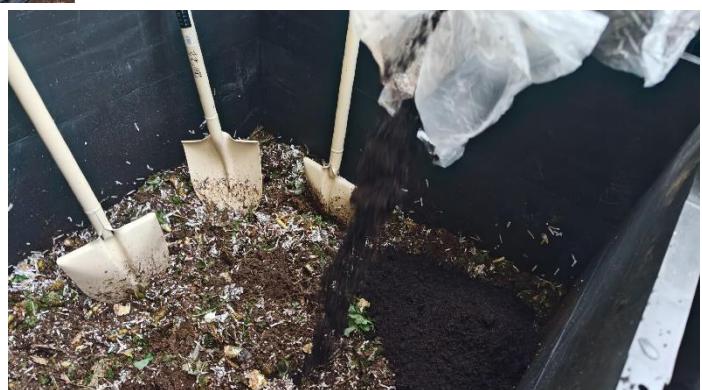


微生物菌が大好きな「米ぬか」を投入
これを入れると急速に分解が進みます
いわゆる「ブースター」です！
獨特のにおいが・・・気になります

街中コンポストでは「におい」に注意が必要です。

そこでコーヒーの豆カスを10kg投入しました！さわやかなコーヒーの香りに！

今回は「スターバックス 渋谷文化村前店」からいただきました。





学校で大量に排出されるシュレッダー
カスも分解してくれます。
水分バランスを調整しやすい資材です。
大量に投入しました。



作業終了！
発酵床 きれいに仕上がりました
ビニールシートをかぶせて
微生物の働きを待ちます

忘れてはいけないのが「水」です
コンポストでは40～60%の水分量を保つことが重要です。
水分が多くると腐敗し、少なすぎると微生物が活動
できません。

水分が適切かどうかの目安は、発酵床を握って水が染
み出さず、手を開いた時に形が崩れない状態と言われて
います。



最後は・・・とにかく混ぜる→混ぜるが大切
混ぜることを「切り返し」と言うそうです。

これは、酸素供給：堆肥化は主に酸素を好む好気性微生物によって行われます。切り返しによって堆積物の内部に空気（酸素）を供給し、微生物の働きを活性化させます。また、発酵の促進と均一化：全体をまんべんなく混ぜることと外部の材料が均一に発酵し、堆肥化のスピードが上がります。



次回は11月27日（木）15時30分
玄関付近コンポスターの脇に集合！

生徒・保護者・教員・地域関係者等
のだれでも参加できるプロジェクトに
なります

汚れてもよい服装で集合してください

継続参加希望者にはオープンチャットにて情報共
有をしていきます！参加すると登録できます